



2024年度
ひとり親Tokyoイベント
事業活動報告

公益財団法人東京都ひとり親家庭福祉協議会

2024/5/18開催 親子で楽しむ ポニー乗馬体験

年2回の恒例イベントであるポニー乗馬体験。茨城県取手市にある小貝川ポニー牧場で1日乗馬を楽しむ体験型のイベントである。

今回は14家族30人にご参加いただいた。5歳から中学3年生の幅広い年齢の子どもたちが集まり、それぞれの休日を楽しんだ。長年開催しているイベントだけあって、中学生の女の子は小学3年以來の参加だとか。

大きく成長しても「また来たい」と思ってくれたのが嬉しい。穏やかな小貝川の流れを横目に、澄み渡った空の下で、ゆっくりと馬に乗って散歩する午後のひととき。合間には、焼き板作りをしたり、ほっくほくの焼き芋を皆で食べたり。ここにいると時間が過ぎるのが早くあっという間に夕方である。

暑い中、何度も往復して引き馬をしてくださっている話上手なカウンセラーさん、いつも全力で参加者を楽しませてくださる牧場スタッフの皆さんのおかげで、とても贅沢で心地よい時間を過ごすことができている。





2024/6/1-2開催 絆キャンプin白樺高原

特急あずさに乗って茅野駅まで。茅野駅からは貸切バスの乗ること約1時間。都心より気温が約9℃低い立科はこの時期まだ少し肌寒い。

今年は昨年と同じく地元立科のすずらん祭りに合わせての開催だった。参加人数は13家族29名。倍率は約5.6倍だった。

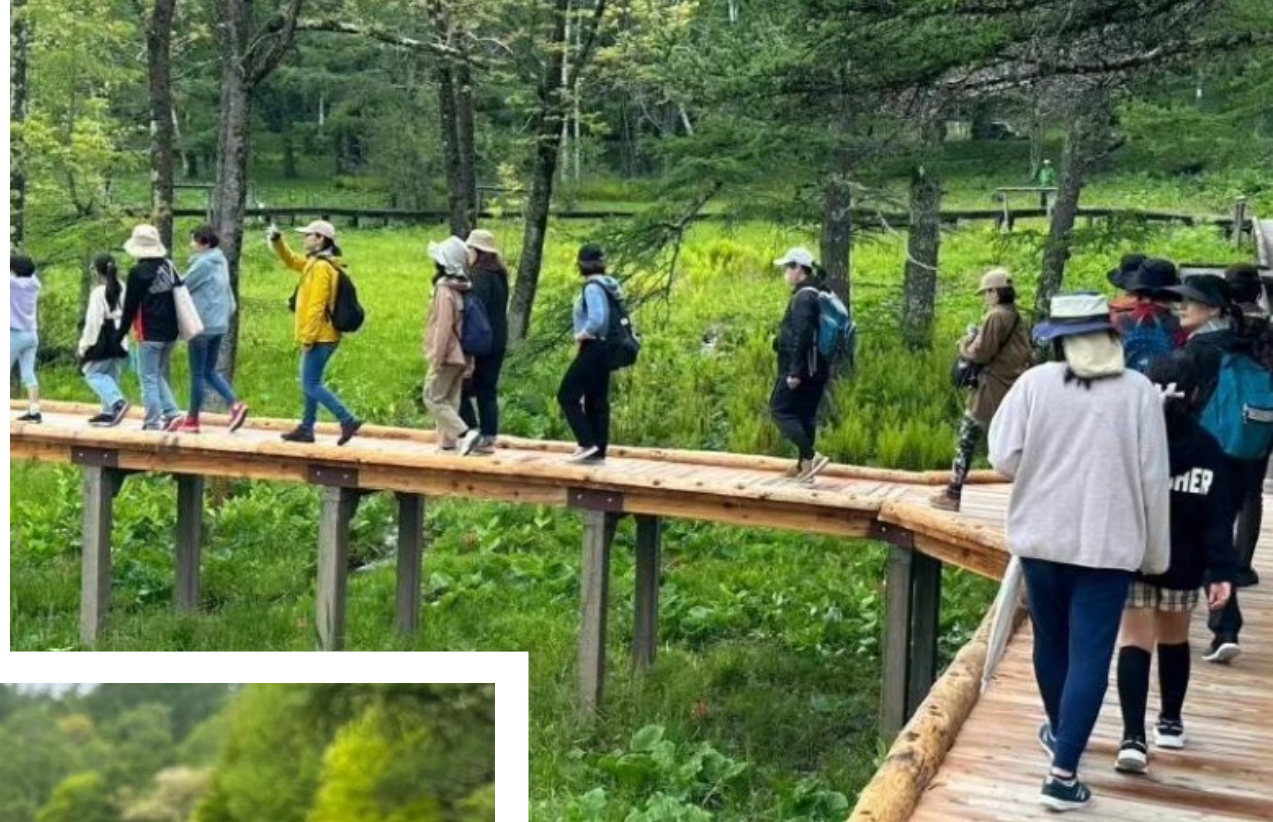
6月初旬は天気が不安定なことが多く、前日までははらはらしたが、初日のメインイベントであるカヌー体験、焚火会でのシンガーソングライター三ツ矢竹輝さんの演奏までは奇跡的に雨に降られずに楽しむことができた。

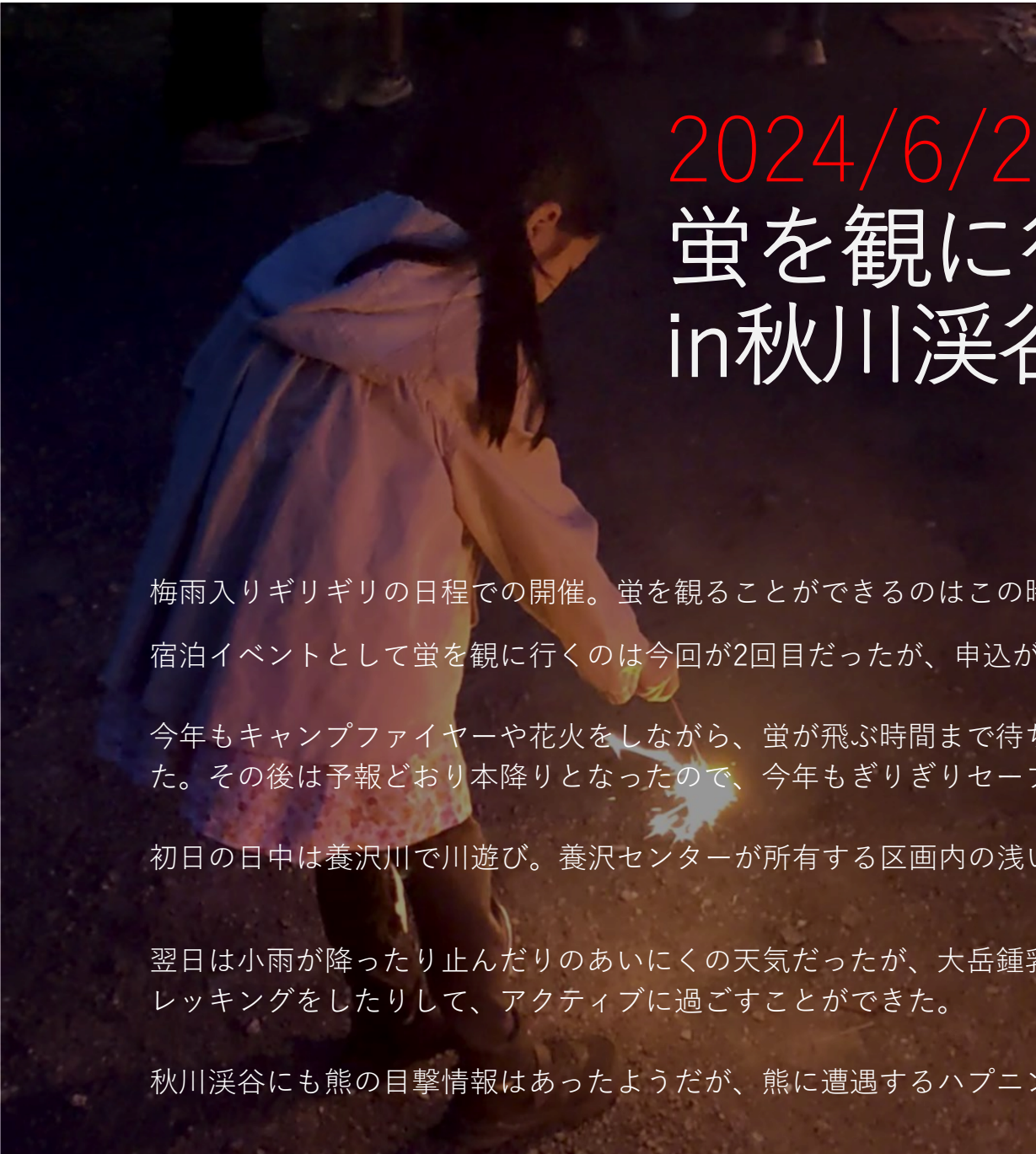
夜は本降りとなり、鹿にはほんの少し会えただったが、夜皆でマイククロバスに乗って鹿を探しに行くの体験はきっと思い出深いものになるだろう。

翌日の小降りの中での女神湖散策も、晴れの日とはまた違う表情をもつ女神湖に出会うことができた。子どもたちは散策よりも、急遽お借りした体育館で伸び伸びと球技を楽しんでいた。

あっという間の1泊2日の小旅行だったが、和気あいあいとした雰囲気の中、穏やかな時間が流れていた。







2024/6/22-23開催 蛍を観に行こう in秋川溪谷

梅雨入りギリギリの日程での開催。蛍を観ることができるのはこの時期の2週間だけである。

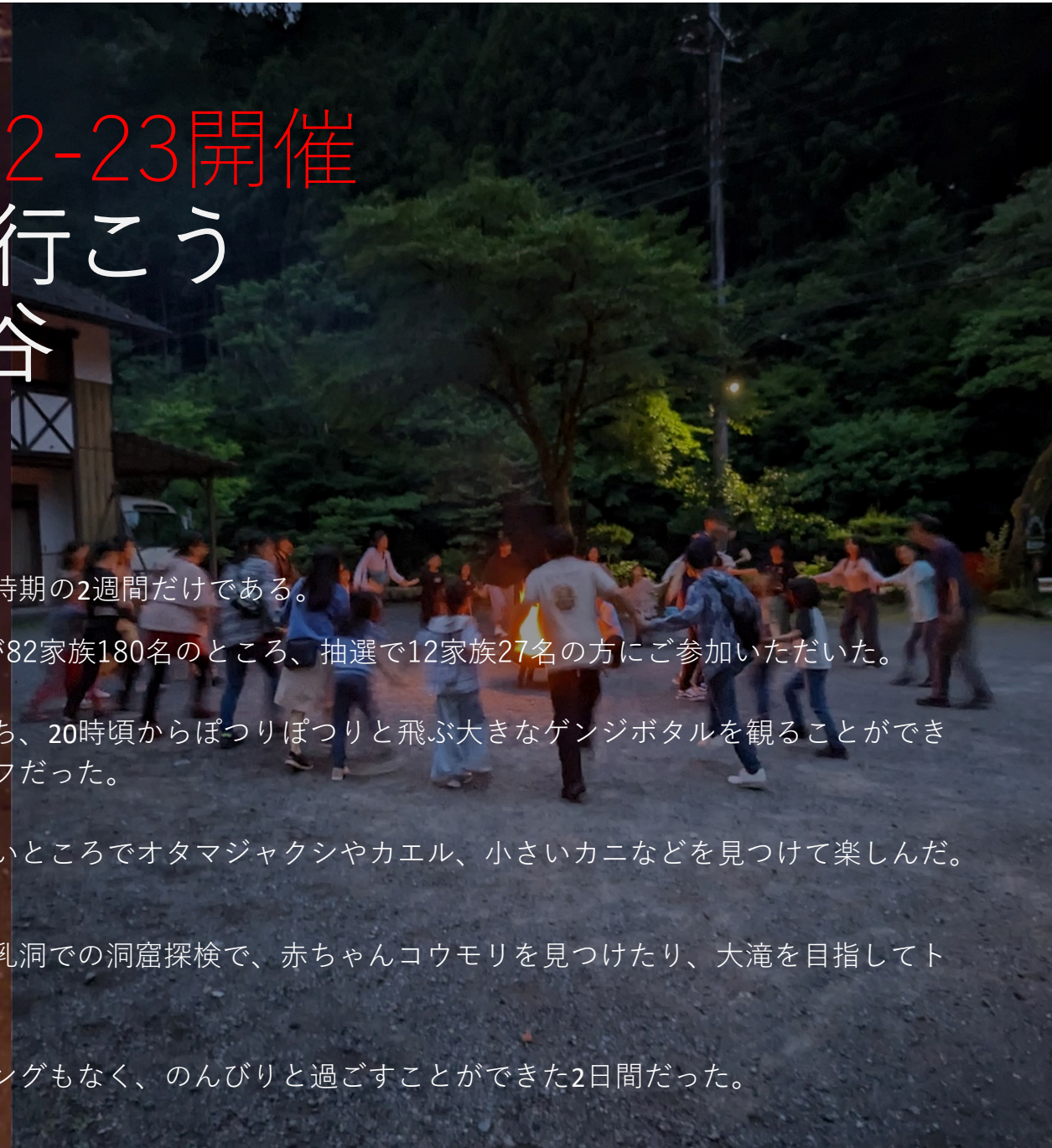
宿泊イベントとして蛍を観に行くのは今回が2回目だったが、申込が82家族180名のところ、抽選で12家族27名の方にご参加いただいた。

今年もキャンプファイヤーや花火をしながら、蛍が飛ぶ時間まで待ち、20時頃からぽつりぽつりと飛ぶ大きなゲンジボタルを観ることができた。その後は予報どおり本降りとなったので、今年もぎりぎりセーフだった。

初日の日中は養沢川で川遊び。養沢センターが所有する区画内の浅いところでオタマジャクシやカエル、小さいカニなどを見つけて楽しんだ。

翌日は小雨が降ったり止んだりのあいにくの天気だったが、大岳鍾乳洞での洞窟探検で、赤ちゃんコウモリを見つけたり、大滝を目指してトレッキングをしたりして、アクティブに過ごすことができた。

秋川溪谷にも熊の目撃情報はあったようだが、熊に遭遇するハプニングもなく、のんびりと過ごすことができた2日間だった。





2024/7/27開催

川をまるごと楽しもう in小貝川

今回初企画の川遊びイベント。酷暑の中、いつもポニー乗馬体験でお世話になっている小貝川ポニー牧場の指導員の皆さまにご指南いただきました。

定員30名に対して154名の応募があり、抽選となった。お子様は年長さんから中3まで幅広くご参加いただきました。

川の水温はぬるくもなく、冷たすぎず、適温でいつまでも浸かっていたいほど。川に入っはしゃぐ疲れしらずのお子さまたちはもちろんのこと、参加されたお母さまたちも臆せず、ざぶざぶ川に入って、約800mの川流れ体験を楽しんだり、カヌー体験をしたり。

いつものポニー乗馬体験とはまた一味違う小貝川を楽しむ術を見つけることができ、充実した1日だった。

地元の人気店、伊勢屋さんにはおにぎり、リヨンわかばさんにはいろいろなパンをご用意いただき、2回に分けての軽食タイム。川の近くの広場の大きな木の木陰でみんなでおにぎりは美味しく感じられたのではないだろうか。



